

遠隔読影サービス

PACSシステムの開発メーカーだからできる大量画像の安定管理及び読影サポート体制

国内でシステム一式貸与できるのは、圧倒的なDICOM技術を保有する当社のみです。



*PACSPLUS Viewerと
遠隔読影管理システムの
完全一体化を実現!*

遠隔読影システム運営実績

※韓国のHESEL読影センター(2023年12月現在)

読影契約施設数 …………… **350施設**

(国立がんセンター、大学病院、総合病院、保健所、クリニック)

登録医師 …………… **60名**

2020年～2023年

累計読影件数 …………… **4,060,000件**
(8割ががんセンター等の入院患者)

日本での遠隔読影センター構築

HESEL遠隔読影センターにおける実績

現在、海外にて毎月180,000件読影をこなしている大型読影センターを運営中、姉妹読影センターとして日本国内の読影センターを構築中。

DtoD 英文所見サービス

海外名門大学病院の教授グループとの業務連携を実施。難しい症例の場合、海外有数の大学病院での院長経験、または、勤務経験のある各分野で著名な放射線科専門医によるアドバイス及び英文所見の依頼が可能

専門分野

胸部、乳房、インターベンショナル・ラジオロジー、
心臓血管、核医学、脳神経・脊椎・頭頸部 等

HESEL 遠隔読影事業

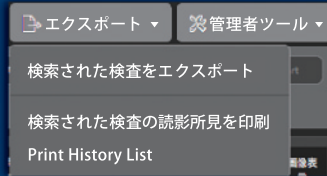
大反響を及んだ PACSPLUS Viewer 及び読影管理システム、画像転送ソフトウェアを契約期間中無償提供いたします。

1 遠隔読影管理システム一式貸与

DICOM Viewer、読影画像転送ソフトウェアはライセンス数無制限。独自の管理システムにより医師割当、読影進捗管理、面倒な月次計算等、膨大な読影データ管理も強力サポート！

読影所見は web 画面から

csv 形式でエクスポート可能

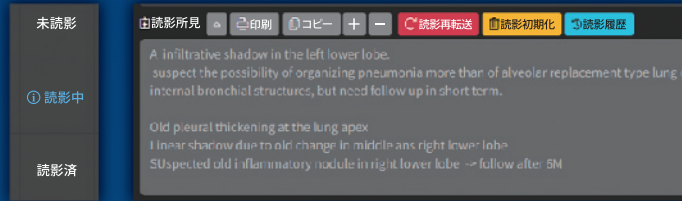


2 読影サービス HESEL Tele-RAD Service

自社開発の画像転送専用ソフトウェアを利用し膨大な DICOM 画像でも滞りなく高速転送

遠隔読影を依頼したい検査を選択し、専用ソフトウェアから簡単送信するだけ、読影所見は Web 上でリアルタイムで確認可能

Web 上でリアルタイム確認



遠隔読影システム概要

過去検査との比較診断を支援

- 画像データを無料で保管 (契約期間中)

読影依頼から所見出力まで



① 読影依頼データ送信

② 読影進捗状況を確認

③ 読影所見出力

提供システム	読影事業者 読影システム一式貸与サービス	医療施設 遠隔読影サービス
読影医 Viewer Software	DICOMデータの高速処理等、HESELの画像技術が集約された読影専用Viewer (契約期間中無償提供)	
医療施設 読影事業者 読影管理システムのユーザー権限	閲覧権限取得 ※弊社管理：アカウント発行、新規医師登録、病院割当、月次集計・報告等 Webブラウザを利用 (Chrome, Edge対応) <ul style="list-style-type: none">読影データのアップロード確認読影所見確認読影所見 (Excel/csv) エクスポート所見印刷	
医療施設 画像転送 Software	独自開発のDICOM転送専用ソフトウェアを利用しカンタン転送	

お問合せ先

PACSPLUS について — SW 単品でご購入頂けます。HWは施設様の方でご用意ください。Windows11 への入替相談も承っております。

- ・ PACSPLUS S/W ライセンス費、設置費、接続費、データ移行費に関する正式見積書依頼は、ホームページのお問合せフォームより承ります。 <https://hesel.jp>

株式会社 HESEL
(旧社名：(株)PACSPLUS)

〒104-0042 東京都中央区入船1-6-12, 2F
TEL: 03-3553-1201 / FAX: 03-3555-5122 / sales@hesel.jp

2024年10月制作